

地震・津波が起きたとき、とるべき行動

地震発生時には、あわてずに、まず身の安全を確保しましょう。また、海岸付近にいる時に強い揺れを感じた場合は、すぐに津波が襲来することがありますので、津波警報や津波注意報の発表を待たず、ただちに高台などに避難してください。

- ### 1 地震・津波発生! 地震の揺れから身を守る

 - 「頭を保護する」「大きな家具から離れる」「丈夫な机の下に隠れる」など、落ち着いて自分の身を守る。
 - ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する。
- ### 2 安全の確認 避難の準備・開始 沿岸部では津波警報を待たずに、ただちに避難!

 - 家族の安全を確認。
 - 火の元を確認・初期消火。
 - 足をケガしないように靴をはく。
 - 揺れがおさまったら、津波のおそれがある区域に居る人は、ただちに避難する。
 - 非常持ち出し品等を手元に用意する。
 - 電気のブレーカーを切る・ガスの元栓を閉める。※復旧時の火災・事故を防ぐため
 - できる範囲で、地域の避難行動要支援者の手助けを。
- ### 3 情報の入手 情報の収集は安全な場所で行う

 - 安全な場所に移動してから、正確な情報を確認する。
 - 間違った情報や、うわさ、デマなどに惑わされないように注意する。
 - 安全が確認されるまで、自宅・沿岸部には戻らない。
- ### 4 避難場所へ移動 一時的に避難した場所から、避難場所や自宅へ移動

 - 津波警報が解除されたら、一時避難した場所から、避難場所などに移動し、家族と合流する。
 - 避難生活では、集団生活のルールを守り、助け合いの心を持つ。
 - 引き続き、災害情報・被害情報を収集。



緊急地震速報を見聞きしたら...

「緊急地震速報」は、最大震度が5弱以上と予想された場合に、震度4以上が予想される地域を対象に報道機関や防災機関からみなさんに伝えられます。この「緊急地震速報」を見聞きしてから数秒〜数十秒後に強い揺れが始まりますので、この間に身を守るための行動をとる必要があります。ただし、震源域に近い地域では「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります。

家庭では... <ul style="list-style-type: none"> ●頭を保護し、丈夫な机の下などに隠れる。 ●あわてて外へ飛び出さない。 ●無理に火を消そうとしない。 	屋外では... <ul style="list-style-type: none"> ●ブロック塀の倒壊等に注意する。 ●看板や割れたガラスの落下に注意し、丈夫なビルのそばであれば、ビルの中に避難する。 	人がおおぜいいる施設では... <ul style="list-style-type: none"> ●施設の係員の指示に従う。 ●落ち着いて行動する。 ●あわてて出口に走り出さない。
自動車運転中は... <ul style="list-style-type: none"> ●あわててブレーキをかけない。 ●ハザードランプを点灯し、揺れを感じたらゆっくり停止する。 	鉄道やバスでは... <ul style="list-style-type: none"> ●つり革や手すりにしっかりつかまる。 	エレベーターでは... <ul style="list-style-type: none"> ●最寄りの階で停止させ、すぐに降りる。
	山やがけ付近では... <ul style="list-style-type: none"> ●落石やがけ崩れに注意する。 	周囲の状況に応じて、あわてずに身の安全を確保しよう

屋内の安全対策

■収納に工夫を

- タンスや本棚などにものを入れる場合は、重いものは下に、軽いものは上に収納するようにします。
- 本棚は隙間をブックエンドで固定するなど、なるべく空間を作らないようにしましょう。

■耐震金具を利用しよう

転倒防止金具

壁・柱・鴨居と家具を固定するタイプと、天井などに固定するタイプがあります。家具や室内の状況によって使い分けましょう。

重ね留め用金具

重ねた上下の家具を固定し、上の家具の落下を防ぎます。

■照明器具の補強を

- 吊り下げ式蛍光灯は、チェーンなどで止めておきましょう。

■置き方に工夫を

- 家具の下部の前方に転倒を防止するための板などを入れ、壁にもたれ気味にします。
- 出入口や通路には、なるべく荷物を置かないようにしましょう。
- 就寝場所に家具が倒れてこないように、配置の工夫をしましょう。

地震のときに家具などが就寝部分に倒れたり、避難経路をふさぐ位置に配置されていませんか？

■ガラスの飛散防止を

- 割れたガラスが飛び散るのを防ぐため、ガラス飛散防止フィルムを貼りましょう。

■扉・引き出し開放防止金具

地震発生時に、扉・引き出しが開かないように固定します。さらに、収納物の落下を防止するために棚板にふきんを敷いたり、木やアルミ棒による飛び出し防止枠をつけると安心です。

手近な取り出しやすい所に運動靴などを用意しておく、足のケガを防止できます。

家屋の耐震化

■壁を補強

■耐力壁を増やそう!

耐力壁の量を増やすと、建物は丈夫になります。

■耐力壁のバランスを良くしよう!

壁の配置にかたよがりがあると、地震で建物がねじれるおそれがあります。壁の少ない側に耐力壁を設ける補強をして、建物のバランスを良くします。

耐力壁とは... ただの間仕切用の壁と区別され、構造用合板などを張り、想定される地震力に抵抗できる壁のこと。筋かいの入った壁も含まれます。

■屋根を軽量化

軽い材料の屋根に替えることで、耐震構造を向上! 軽量化については、耐震壁などの上部構造各部の補強とあわせ、全体で考えましょう。

■腐朽部分を補強

腐朽部分は新しいものと交換しよう! 劣化した部材を部分的に取り替えた場合、接合部が弱点にならないように補強しましょう。

■建物の基礎を補強

■基礎の補強で耐震性UP!

無筋コンクリートは耐震性に乏しく、崩壊しやすいので、新たに鉄筋コンクリート造の基礎を抱き合わせます。

ひびの入った基礎は樹脂などを注入して補強。

■接合部を補強

山形金物・筋かいプレート・火打金物・制震金物などで補強することで、地震の揺れによるひずみに耐えることができます。

■ブロック塀の倒壊を防止

ブロック塀に控え壁があるか、鉄筋が入っているか確認しましょう。見掛けはしっかりしていても、その一部に安全性が欠けると塀全体の倒壊につながる危険性があります。

大津波警報・津波警報・津波注意報

地震発生後、津波による災害の発生が予想される場合には、気象庁より「大津波警報」「津波警報」「津波注意報」が発表されます。

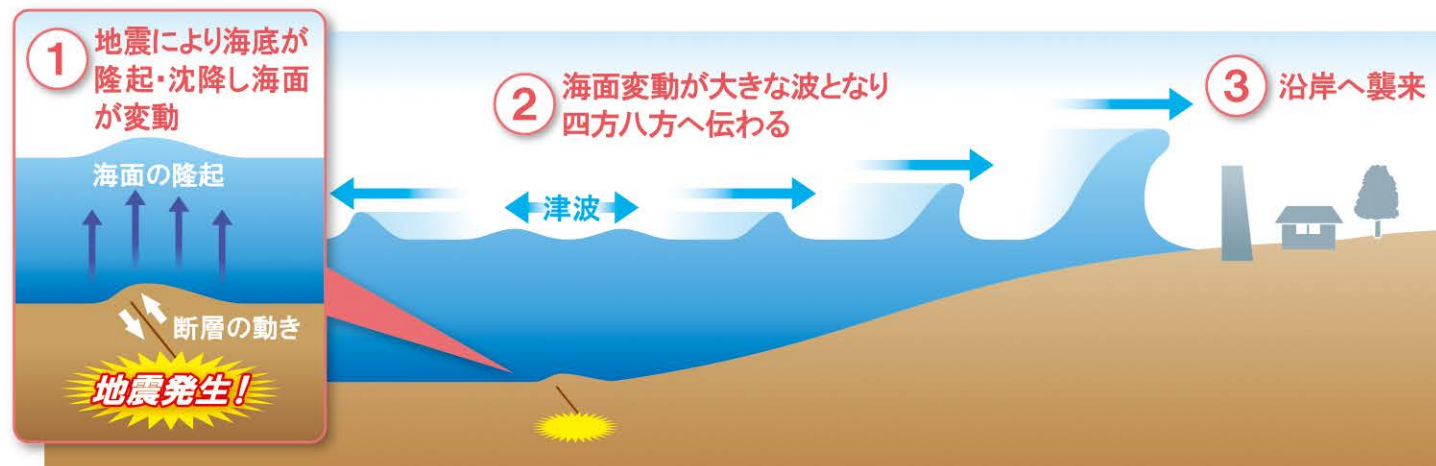
通常、予想される津波の高さは5段階の数値で発表されますが、マグニチュード8を超えるような巨大地震に対して最初に発表される警報は、その海域における最大の津波想定等をもとに、数値ではなく、「巨大」や「高い」という言葉で発表されます。まずは非常事態であることが伝えられ、その後、地震の規模が精度よく求められた時点で津波警報を更新、予想される津波の高さも数値で発表されます。

種類	発表基準	発表される津波の高さ		とるべき行動
		数値での発表	巨大地震の場合の発表	
大津波警報 (特別警報に位置付け)	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合。	10m超 (10m<予想高さ)	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台など安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。
		10m (5m<予想高さ≤10m)		
		5m (3m<予想高さ≤5m)		
津波警報	予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合。	3m (1m<予想高さ≤3m)	高い	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合。	1m (20cm≤予想高さ≤1m)	(表記しない)	ただちに海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近づいたりしないでください。

- 震源が陸地に近いと津波警報が間に合わないことがあります。「揺れたら避難」を徹底しましょう。
- 津波は沿岸の地形などの影響により局所的に予想より高くなる場合があります。より高い場所を目指して避難しましょう。
- 津波の高さを「巨大」と予想する大津波警報が発表された場合は、東日本大震災のように巨大な津波が襲来するおそれがあります。ただちにできる限りの避難行動をとりましょう。

津波の発生と伝わり方

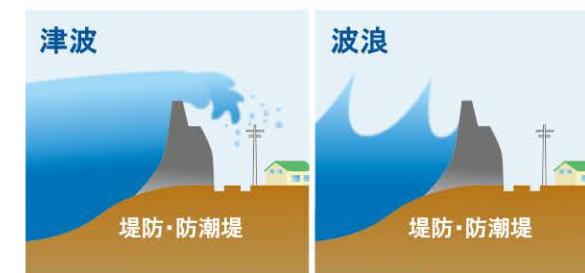
海底下で大きな地震が発生すると、断層運動により海底が隆起もしくは沈降します。これに伴って海面が変動し、大きな波となって四方八方に伝わる現象が津波です。



津波の特徴と避難時の心得

恐るべき津波の破壊力

- 普通の波(波浪)と違い、津波は海底地盤の上下による海水全体の動きのため、海底から海面までのすべての海水が巨大な水の塊となって沿岸に押し寄せ、その破壊力は凄まじいものとなります。
- 引き波も長時間にわたり引き続けるために、家屋などが一気に海中へと引き込まれてしまいます。



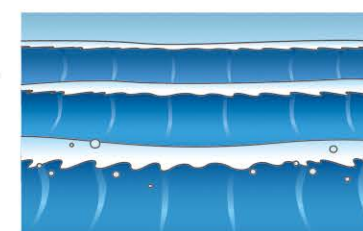
津波の速度は速い

- 津波が陸上をさかのぼるときの速さは、時速36km程度になります。これはオリンピックの短距離走者並みの速さです。
- 津波が見えてから、走って逃げ切ることは非常に困難です。



津波は繰り返し襲ってくる

- 津波は長い時間繰り返し襲ってきます。また、最初に到達する波が最も大きいとは限りません。
- 一度波が引いても、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。



津波は河川を遡上する

- 津波は河口から侵入し、何キロメートルも上流に遡上(逆流)することがあります。
- 遡上した津波が、河川堤防を越えて河川の周辺に大きな被害をもたらすことがあります。
- 津波警報や津波注意報が解除されるまでは、海岸はもちろんのこと、河川にも絶対に近づかないでください。



津波の前に引き波があるとは限らない

- 津波は引き波から始まるとは限りません。
- 地震の種類や震源付近の地形などの影響によっては、いきなり津波が襲ってくる場合があります。



地震の揺れがおさまったらすぐに避難

- 揺れがおさまったら、津波警報や津波注意報の発表を待たずに、ただちに安全な高台へ避難しましょう。
- 津波からの避難は一刻を争うため、情報を待っていると逃げ遅れる場合があります。情報の収集は安全な場所へ移動してから行ってください。



遠くへ逃げるのではなく、高い場所へ避難する

- 海岸から「より遠く」ではなく、「より高い」場所へ避難しましょう。
- 避難が間に合わない場合は、近くの頑丈なビルの3階以上に避難してください。高い建物がない場合は、少しでも標高の高い場所へ避難してください。

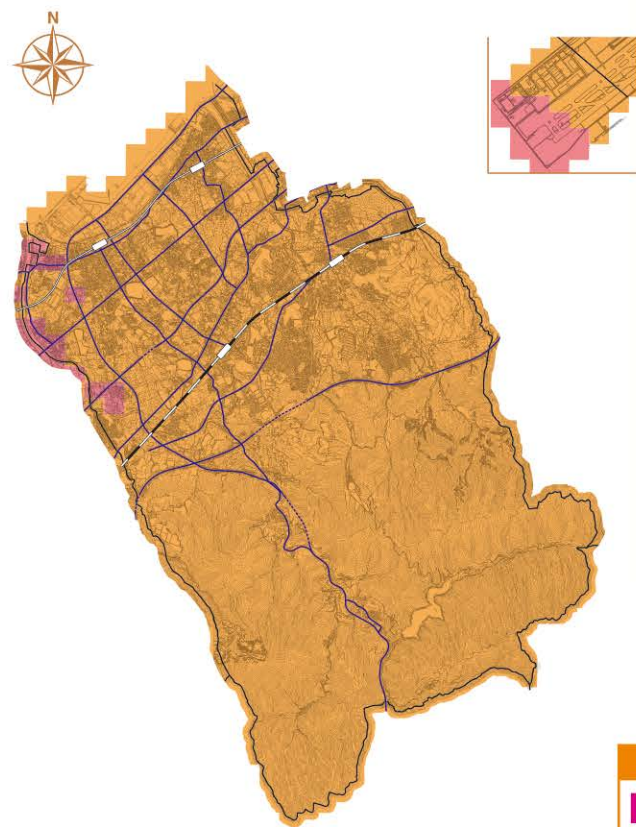


泉南市 地震ハザードマップ 震度分布

このマップは、泉南市に大きな影響をあたえる地震が発生した場合に予想される震度を示したものです。市域に影響をあたえる地震としては、プレートの境界で発生する(海溝型)地震である「南海トラフ巨大地震」、プレートの内部で発生する(内陸型)地震である「中央構造線断層帯地震」の2つを掲載しています。

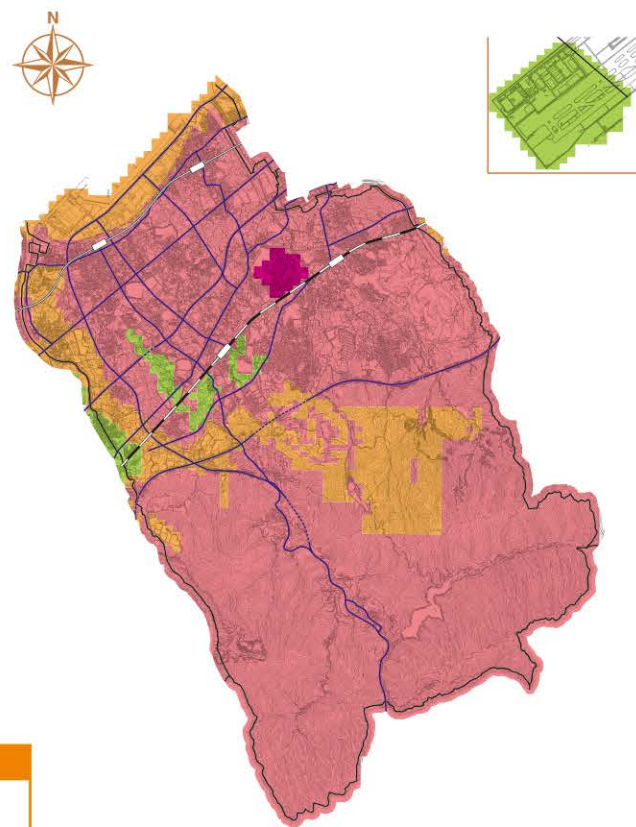
※このマップの想定は、大阪府地震被害想定の結果を示しています。

南海トラフ巨大地震



出典:
平成25年8月
第3回南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会(大阪府)

中央構造線断層帯地震



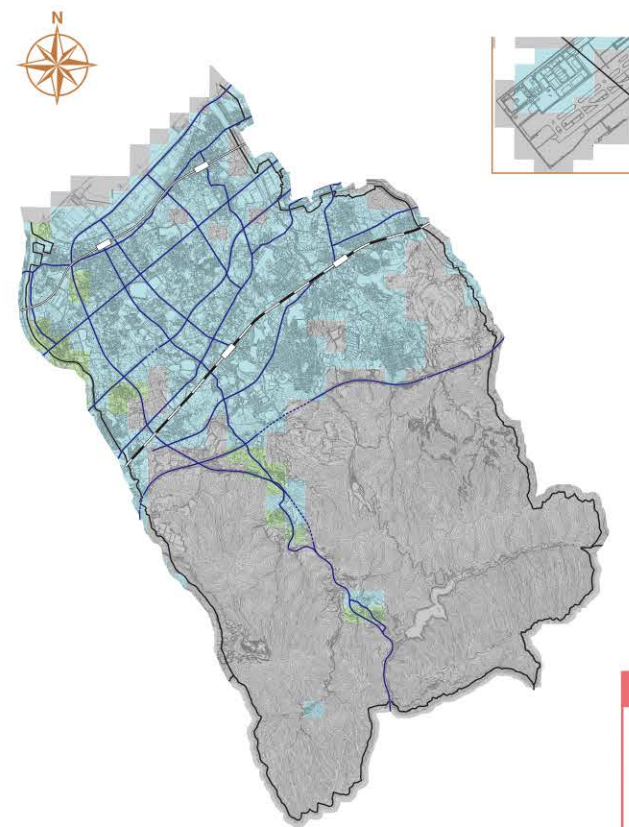
出典:
平成19年3月(平成23年 泉南市調製)
大阪府自然災害総合防災対策検討(地震被害想定)



泉南市 地震ハザードマップ 建物倒壊危険度

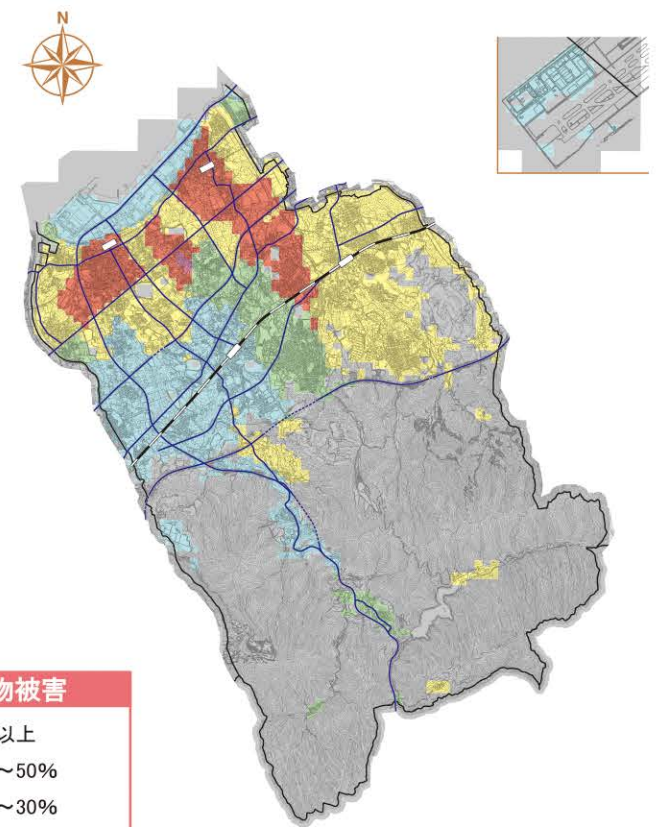
このマップは、泉南市に大きな影響をあたえる地震が発生した場合に予想される建物被害を示したものです。市域に影響をあたえる地震としては、プレートの境界で発生する(海溝型)地震である「南海トラフ巨大地震」、プレートの内部で発生する(内陸型)地震である「中央構造線断層帯地震」の2つを掲載しています。

南海トラフ巨大地震



出典:
平成25年10月
第4回南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会(大阪府)

中央構造線断層帯地震



出典:
平成19年3月(平成23年 泉南市調製)
大阪府自然災害総合防災対策検討(地震被害想定)



~想定地震の概要~

<南海トラフ巨大地震>

太平洋沖の南海トラフ(駿河湾~日向灘)で発生する海溝型地震です。

マグニチュード:**8~9**クラス程度
今後30年以内の地震発生確率:**70%~80%**程度

<中央構造線断層帯地震(根来区間)>

近畿地方から四国地方にかけて東西にのびる中央構造線断層帯で発生する内陸型(活断層型)地震です。

マグニチュード:**7.2**程度
今後30年以内の地震発生確率:**0.008%~0.3%**

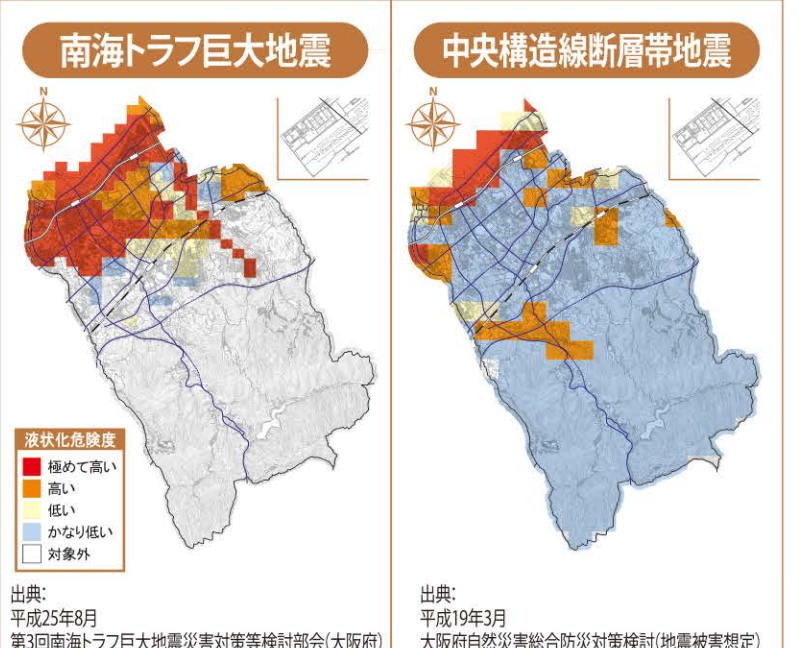
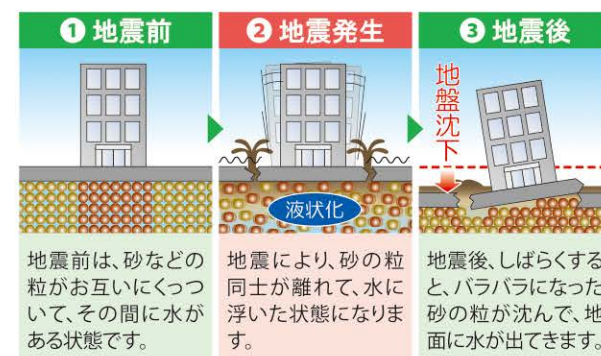
※地震調査研究推進本部による長期評価(令和4年1月)

震度階級表

震度5強	<ul style="list-style-type: none"> ●物につかまらなと歩くことが難しい。 ●棚にある食器類や本が落ちるものが増える。 ●固定していない家具が倒れることがある。 ●補強されていないブロック塀が崩れることがある。
震度6弱	<ul style="list-style-type: none"> ●立っていることが困難になる。 ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ●耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。
震度6強	<ul style="list-style-type: none"> ●はわないと動くことができない。飛ばされることもある。 ●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。 ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。 ●大きな地割れが生じたり、大規模な土すべりや山体の崩壊が発生することがある。
震度7	<ul style="list-style-type: none"> ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに増える。 ●耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 ●耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。

液状化危険度

液状化現象とは、地下水位が高く、ゆるく堆積した砂地盤などが地震により激しく揺らされると、土の粒子が水と混ざり合っ、一時的に液体のようにやわらかくなることをいいます。



施設等 的设施等的传说/시설 등의 명례 Legend of facilities etc.

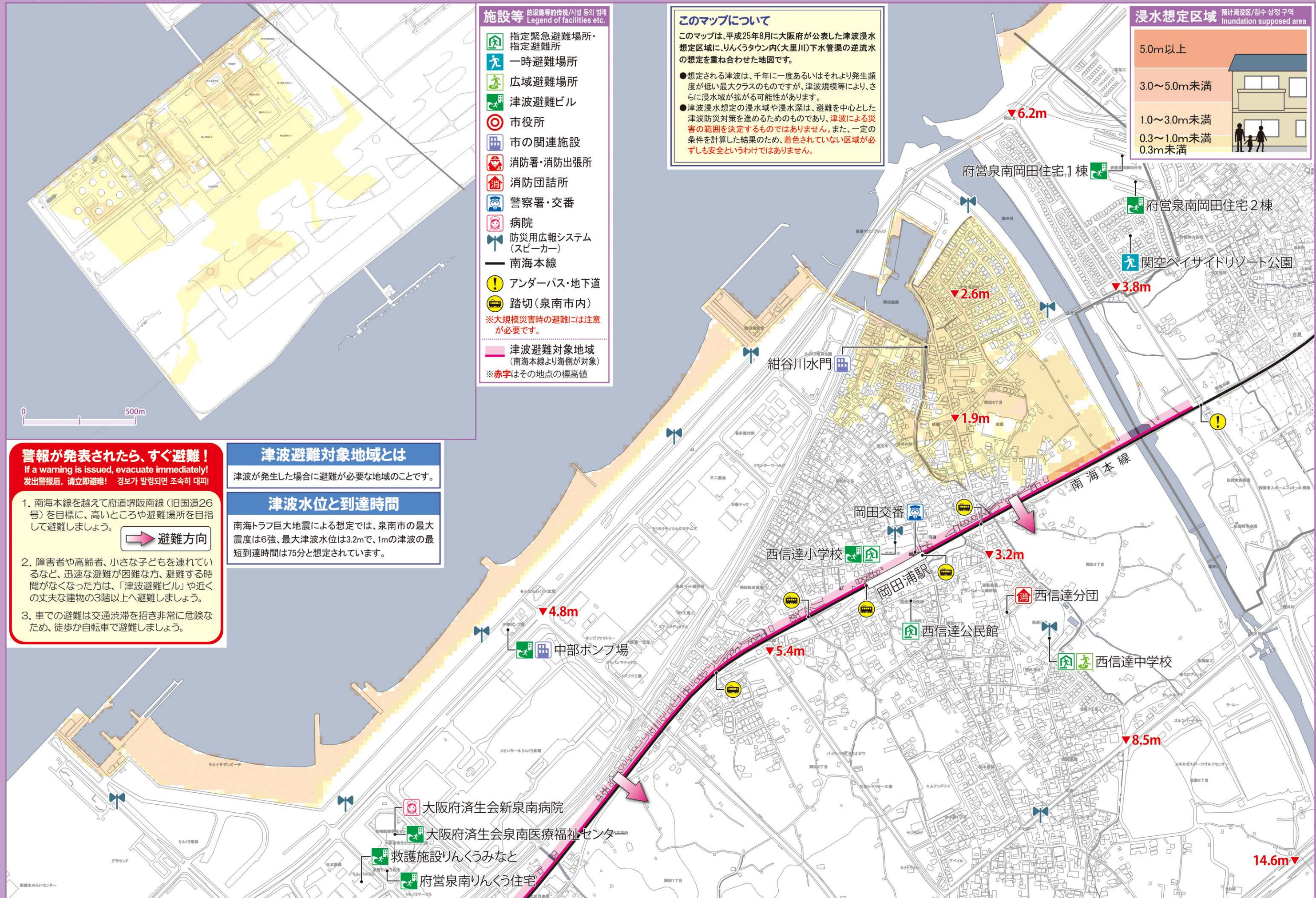
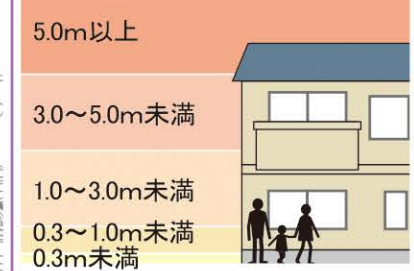
- 指定緊急避難場所・指定避難所
 - 一時避難場所
 - 広域避難場所
 - 津波避難ビル
 - 市役所
 - 市の関連施設
 - 消防署・消防出張所
 - 消防団詰所
 - 警察署・交番
 - 病院
 - 防災用広報システム (スピーカー)
 - 南海本線
 - アンダーパス・地下道
 - 踏切 (泉南市内)
- ※大規模災害時の避難には注意が必要です。
- 津波避難対象地域 (南海本線より海側が対象)
- ※赤字はその地点の標高値

このマップについて

このマップは、平成25年8月に大阪府が公表した津波浸水想定区域に、りんくうタウン内(大里川)下水管渠の逆流水の想定を重ね合わせた地図です。

- 想定される津波は、千年に一度あるいはそれより発生頻度が低い最大クラスのものですが、津波規模等により、さらに浸水域が広がる可能性があります。
- 津波浸水想定は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害の範囲を決定するものではありません。また、一定の条件を計算した結果のため、着色されていない区域が必ずしも安全というわけではありません。

浸水想定区域 预计淹没区/침수상정구역 Inundation supposed area



警報が発表されたら、すぐ避難!

If a warning is issued, evacuate immediately!
发出警报后, 请立即避难! 경보가 발령되면 조속히 대피!

1. 南海本線を越えて府道堺阪南線(旧国道26号)を目標に、高いところや避難場所を目指して避難しましょう。
2. 障害者や高齢者、小さな子どもを連れているなど、迅速な避難が困難な方、避難する時間がなくなった方は、「津波避難ビル」や近くの丈夫な建物の3階以上へ避難しましょう。
3. 車での避難は交通渋滞を招き非常に危険なため、徒歩か自転車で避難しましょう。



津波避難対象地域とは

津波が発生した場合に避難が必要な地域のことです。

津波水位と到達時間

南海トラフ巨大地震による想定では、泉南市の最大震度は6強、最大津波水位は3.2mで、1mの津波の最短到達時間は75分と想定されています。

泉南市 津波ハザードマップ ②

Sennan City Tsunami Hazard Map 泉南市海啸予測図 센난시 쓰나미 재해예측도



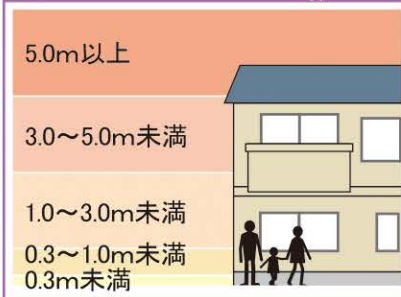
警報が発表されたら、すぐ避難!

If a warning is issued, evacuate immediately!
发出警報后, 请立即避难! 경보가 발령되면 조속히 대피!

1. 南海本線を越えて府道堺阪南線(旧国道26号)を目標に、高いところや避難場所を目指して避難しましょう。
2. 障害者や高齢者、小さな子どもを連れているなど、迅速な避難が困難な方、避難する時間がなくなった方は、「津波避難ビル」や近くの丈夫な建物の3階以上へ避難しましょう。
3. 車での避難は交通渋滞を招き非常に危険なため、徒歩か自転車で避難しましょう。

避難方向

浸水想定区域



施設等

- 指定緊急避難場所・指定避難所
一時避難場所
広域避難場所
津波避難ビル
市役所
市の関連施設
消防署・消防出張所
消防団詰所
警察署・交番
病院
防災用広報システム(スピーカー)
南海本線
アンダーパス・地下道
踏切(泉南市内)
※大規模災害時の避難には注意が必要です。
津波避難対象地域(南海本線より海側が対象)
※赤字はその地点の標高値

このマップについて

このマップは、平成25年8月に大阪府が公表した津波浸水想定区域に、りんくうタウン内(大里川)下水管渠の逆流水の想定を重ね合わせた地図です。

- 想定される津波は、千年に一度あるいはそれより発生頻度が低い最大クラスのものですが、津波規模等により、さらに浸水域が広がる可能性があります。
- 津波浸水想定は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害の範囲を決定するものではありません。また、一定の条件を計算した結果のため、着色されていない区域が必ずしも安全というわけではありません。

津波避難対象地域とは

津波が発生した場合に避難が必要な地域のことです。

津波水位と到達時間

南海トラフ巨大地震による想定では、泉南市の最大震度は6強、最大津波水位は3.2mで、1mの津波の最短到達時間は75分と想定されています。

